

戦争遺跡 松代大本営 の知られざる歴史と出会う

ぞうざんちかごう

象山地下壕 (長野市松代町)

もうひとつの歴史館・松代



もうひとつの歴史館・松代

開館時間：午前10時～午後4時

(前日午後4時までに電話予約いただければ9時から開館)

休館：火曜日(祝日は開館) 冬期(12月～3月下旬)

入場料：一般200円 中高生150円 小学生100円
(小学生未満・障がいのある方は無料)

連絡先：電話・FAX 026-278-7746

住所 〒381-1232 長野県長野市松代町西条479-13

ホームページ：<http://www.matsushiro.org/>

ご希望の方には館内を簡単にご説明します

展示内容

◎ 地下壕の全体図

持ってみて!

◎ 削岩機

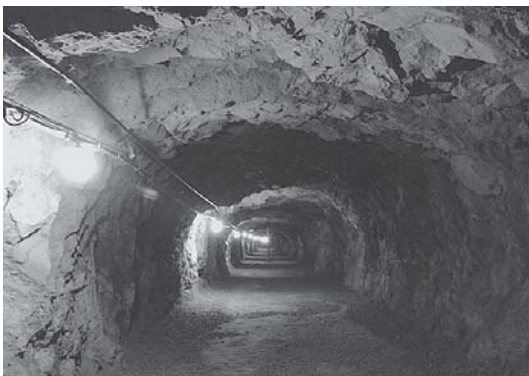
◎ トロッコ(実物大模型)

◎ モッコ(実物大模型)

◎ 証言と図絵で語る松代での工事

かっ 担いでみて!

◎ 関連書籍販売 ほか



象山地下壕

(総延長 5853m 公開部分 500m)

見学時間：午前9時～午後4時(入壕は3時30分まで)

休壕日：毎月第3火曜日(祝日の場合はその翌日)
および年末年始

料金：無料

松代大本営とは? アジア太平洋戦争末期の1944年から1945年にかけて、「国体護持」(天皇を頂点とする国家体制の維持)を目的として、現・長野市松代町の象山や舞鶴山を中心に、善光寺平一帯に分散して作られた地下軍事施設群のことである。この工事では、多くの朝鮮人および地元住民が労働を強いられた。

もうひとつの歴史館・松代とは 地下壕工事の事実を知り考える場として1998年2月に開館。2013年4月に松代の六工社ゆかりの木造建築の資材を再利用しリニューアルオープン。1000名を超える方々の募金で設立された歴史館です。